

広域地方計画

事業具体化着々進む

首都圏は国際ビジネス拠点

国土交通省は、国土形成計画のうちの、地域ブロックごとの検討状況をまとめた。地方の将来像や具体的プロジェクトを整備局や地方自治体などで構成はそれぞれ11―24件の具体的な

各ブロックの計画検討状況

ブロック	キーコンセプト	主なプロジェクト
東北圏	豊かな自然とともに力強く成長するふるさと「東北につぼみ」の騒動	低炭素・循環型社会づくり、次世代自動車関連産業集積拠点形成
首都圏	世界の経済・社会をリードする風格ある圏域づくり	国際ビジネス拠点強化、太平洋・日本海ゲートウェイ
北陸圏	「暮らしやすさ日本一」自然と資源を活かした環日本海交流の中核拠点	エネルギー技術・環境技術拠点形成、日本海中核拠点形成
中部圏	ものづくりと環境貢献で日本のロータリーとして世界のまんなか	高次元都市機能・連携強化、伊勢湾再生
近畿圏	知と文化の「ほんまもん関西」の復建	文化首都圏、大阪湾バイエリア再生
中国圏	瀬戸内海・日本海に臨む基幹産業と山里の資源で創る交流圏域	臨海部産業支援のための国際物流機能強化、集約型都市整備
四国圏	癒しときらり輝く産業のしま・四国の創造	技術力・健康支援産業クラスター形成、中山間地域・島しょ部活性化
九州圏	東アジアとともに発展し、活力と魅力あふれる国際フロンティア九州	国際交流フロンティアの形成、九州新幹線の整備インパクトの最大化

プロジェクトが盛り込まれており、計画の具体化が着々と進んでいる。
各協議会は計画に対する市町村からの提案を28日まで受け付け、6月をめどに計画原案をまとめる。原案は国土交通省に提出され、同省がパブリックコメントを実施した上で、今夏にも各ブロックの広域地方計画を策定する。

協議会がまとめた計画の中間整理に盛り込まれているプロジェクトは、東北圏が13件、首都圏が24件、北陸圏が13件、中部圏が20件、近畿圏が11件、中国圏が20件、四国圏が15件、九州圏が22件となっている。首都圏は、圏域の将来ビジョンとして国際ビジネス拠点整備、空港を始めとするゲートウェイ機能の強化などを検討を進めている。

具体的施策に高機能オフィスの供給促進、情報インフラの再構築、成田空港と都心、羽田空港間のアクセス強化を盛り込んでいる。
近畿圏は、「文化首都圏」や「知の拠点」の形成などを戦略目標に設定し、世界の研究者が交流する拠点整備として、大阪駅北口地区でのアジア太平洋地域研究所構想（仮称）などを推進する。

各協議会は28日まで市町村から計画に盛り込むべき施策の提案を受け付け、6月にも市町村提案を踏まえた計画の原案を作成する。

国土形成計画は、国が策定する全体計画と国と地方の協働により地域の将来像や具体的な施策をまとめる広域地方計画で構成する。広域地方計画の策定に当たっては、北海道と沖縄県を除く8ブロックで地方整備局や都道府県などが協議会を設置し、圏域の自立発展に向けた方針や目標、施策の具体的な内容について検討を進めている。